

# 効果的・効率的な通所介護計画の作り方・評価の仕方

本当に役立つ通所介護計画になっていますか。計画の作成のために、無駄に時間をかけてはいませんか？ 通所介護計画は、実際に役立つものとして機能していますか？ いまデイサービスは、利用者の多様性に伴い、さまざまな支援が求められています。生活相談員を始めとするソーシャルワーカーには、単に施設内の業務のみにとどまらない多面的な支援計画も求められてきます。通所介護計画は、これらの支援をいかに取り組むかを描いた道しるべともいえる「デイサービスと利用者の指標」のようなものです。本研修会では、通所介護計画の作成について、法令を読み解きながら基本に沿った効果的・効率的な作成方法について解説していきます。ケアマネジャーとの計画書についてのやり取りで、気をつける点や困った対応をされた時の作成時の対応方法などをご説明していきます。評価については、行うスタッフによって異なるのではなく、しっかりとご利用者の状況を捉えることが重要とされています。また、実施した評価は、その後のご利用者のケアマネジメントに繋がっていく内容でなければ行う意味がありません。モニタリング・評価の正しい実施方法が分かるだけで業務の効率化にも繋がります。ぜひこの研修で要所をおさえていただき、明日からの業務に活かして頂きたいと思えます。

## ●指導監査で問われる作成上のポイント

(これは OK or No)

- カンファレンスを生かした通所介護計画
- 効果的・効率的な計画作成のプロセスコード
- 居宅サービス計画に沿った通所介護計画の作り方
- 通所計画 作成時の必要項目とニーズの優先順位
- モニタリング・評価って何だろう？
- コンプライアンス（法令順守）から見た作成と評価のポイント
- 課題別モニタリング・評価の方法とポイント
- ケアマネジャーの求める計画書作成と評価

## 講師：梅沢佳裕（うめざわ・よしひろ）

日本福祉大学福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科助教／福祉と介護研究会35代表／社会福祉士／介護支援専門員 専門分野：高齢者福祉学，社会福祉援助技術（ソーシャルワーク）介護福祉士養成専門学校の助教員を経て、特養・在宅介護支援センター相談員を歴任する。その後、デイサービスやグループホームの立ち上げに関わり、自らも管理者となる。「福祉と介護研究所」を設立、相談員・介護職・ケアマネジャー等のスキルアップ研修講師を多数行う。「福祉と介護研究会35」に改名。

日 程 H30年11月7日 9:30~16:30  
 受講料 10,800円  
 会場 フォレスト仙台 仙台市青葉区1-2-45 地下鉄「北四番丁」駅 徒歩7分  
 対象 生活相談員・管理者・介護従事者など  
 申込方法 ファックスでのお申込になります。下記の申込書式を記入の上、ファックスを送信願います。受付後確認のファックスを致します。  
 支払方法 受講案内を送付致しますので、受講案内が届いた後お振込み願います。  
 主催 お茶の水ケアサービス学院 TEL 03-3863-4000

**ファックス 03-3863-4006**

お名前	フリガナ		役職	
			事業所名	
住所	(〒 - ) (事業所・自宅)			
TEL		FAX		e-mail

※お申し込み後（お申し込み日を1日目とします）、7日目以降のキャンセルについては、お振込前でも受講料の半額のキャンセル料がかかります。また、申込日に拘らず10/24以降は、受講料の全額のキャンセル料がかかりますのでご注意ください。※キャンセルのご連絡がない場合は、キャンセル扱いにはなりませんのでご注意ください。